



# 2月 ばらだより



令和8年2月1日

ピンと張った冷たい空気に、白い息・・・。子どもたちはそんな寒さのなか、ちょっとだけ顔を出した太陽の暖かさを感じながら、元気いっぱい園庭を走り回っています。色々な感染症も流行する時期ですがほとんど病気をすることなく元気で登園している子どもたちの姿がとても嬉しいです。卒園まで、残すところ約2か月となりました。これから更に、一日一日を大切に過ごしながら保育園での楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。運動遊びや集団遊び、製作遊びを取り入れながら、お友だちみんなで楽しんでいきたいと思います。

## ～今月のねらい～

- 健康的で安全な環境をつくり、一人ひとりが自信や自覚を持って生活できるようにする。
- 自分らしさを大切にしながら、友だちと協力して生活や遊びを進めていく充実感を味わう。
- 季節の行事に関心をもち、豆まきを楽しむ。
- 冬の自然事象に進んで関わり、試したり考えたりして関心を深める。

## ～今月の活動予定～

- \*製作遊び…折り紙で鬼を作ったり、おひなさまの製作をして楽しむ。
- \*運動遊び・集団遊び…リレーやサーキット遊びをしたり、ドッジボールや鬼ごっこを楽しむ。
- \*硬筆…4日(水)、18日(水)



## 鬼のお面を作ったよ

2月3日の節分に行われる豆まきに向けて、お面を作りました。サンバイザータイプのお面をベースに顔のパーツや角、髪の毛も自分たちで好きなように切ったり、貼ったりして作りました。完成すると早く、頭にかぶってみる子どもたち。節分が待ち遠しいようです。



## ～今月の絵本～

### 『しんせつなともだち』

方軒 義 作

食べ物がない寒い冬のことです。お腹がすいたうさぎが、かぶをふたつ見つけました。ひとつだけ食べて、もうひとつを同じようにお腹をすかせているろばに届けますが、ろばは留守でした。うさぎはろばの家にかぶをおいていきます。家に帰ってきたろばは、かぶにびっくりします。ちょうどさつまいもを手にいれたばかりだったろばは、かぶを今度は山羊に届けます。思いやりの心をのせたかぶが、動物たちのもとをめぐる「ぐるぐる話」。

## 文字を書くって楽しいな～

4月から毎月2回、硬筆に取り組んでいるばら組の子どもたち。硬筆を始めた当初に比べると、机、椅子に座る姿勢、鉛筆の握り方、書き順などもすいぶん上手になってきました。自分の名前や他の文字も少しずつ書けるようになっています。子どもたちも自分の書きたい文字が自分で書けるのがとても嬉しいようです。4月からは、1年生になります。ご家庭でも名前を書いてみたり文字を書く練習をしておくといいかもしれませんね。

